

トップメッセージ

人を幸せにする、ヒューマンセントリックなイノベーションの実現に挑戦していきます。

経営者の使命として「持続可能性」を追求



富士通株式会社 代表取締役社長

田中 達也

富士通は事業の中心に人を置いて、人を幸せにする会社です。人々が活動する社会を富士通のテクノロジーやサービスがしっかりと支える～これが富士通の目指すヒューマンセントリック・イノベーションの世界観です。私はこの実現に向けて、3つの観点から持続可能な発展に貢献することが重要だと考えます。

初めに、地球と社会の持続可能な発展です。現在、人類が地球に与える環境負荷は約1.5個、このままでは社会を持続的に維持できないことは誰の目にも明らかです。さらに、都市では人口流入が加速化し、エネルギーや水、大気汚染、先進国では高齢化などの問題が一層顕在化しています。次世代の人々が幸せに暮らせる地球を継承していくためには、ICTを核とするイノベーションにより、新興国を含めた社会全体の生産性を向上させなくてはなりません。

次にデジタル社会の持続可能な発展です。ICTは社会やビジネスが継続するために不可欠な資源です。人々の幸せな生活に綺麗な水や安定したエネルギー供給が必要であるのと同様、デジタル社会では個人情報やビジネスデータなどの

資源は適切に活用されなければなりません。富士通はICT企業の社会的責任として、安心・安全な情報通信ネットワーク環境を守るため、世界の関係機関と連携しサイバー攻撃などの問題にも取り組んでいきます。

最後に、富士通自身の持続可能な発展です。持続的に社会で操業を行うために、国連グローバルコンパクトの署名企業として「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持しています。またISO26000の枠組みを活用し、グローバルマトリックス体制の下、例外を設けることなく（ゼロトレランスで）社会的責任に関する活動のレビューと改善に取り組みます。

私自身も、お客様やグローバルなステークホルダーの期待と要請に耳を傾け、持続可能な発展に貢献する経営を実践していきます。